

児童の現状・課題

- ・関心のある課題に対しては意欲的に取り組むことができ、自分の考えを他者に伝えようとする力がついてきている。
- ・基礎基本の学力が定着していない児童や、粘り強く課題に取り組む姿勢が身に付いていない児童が多い。

**学び続ける力を育むための重点目標**

- 児童が自ら学習スタイルを選び、自己決定する機会を積み重ねていくことで、個別最適な学びの実現を図る。

**児童調査**

肯定的回答の割合(%)	昨年度	目標(7月)	結果(1月)
①自分からすすんで計画をたてて学習している。	76.2%	78.0%	
②問題や課題に取り組んでもうましくない時には、うまくいくように違うやり方を試したり、調べたりして粘り強く取り組んでいる。	74.1%	75.0%	

教員調査

肯定的回答の割合(%)	昨年度	目標(7月)	結果(1月)
①授業では、学習課題や学習過程等、児童が学び方を選択する場面を設定している。	85.7%	86.0%	
②個別最適な学びを実現するため、事前に個に応じた課題や支援方法を計画している。	71.4%	72.0%	

具体的な手だて①〈学習計画の提示〉

- ・単元の初めに学習する内容や学習の計画を示し、児童に見通しをもたせることで挑戦しようとする力や粘り強く取り組む力を高める。

具体的な手だて②〈自己決定の場の設定〉

- ・教員が意図的に多様な選択肢(学び方)を設定し、児童が選択(自己決定)できる場を各教科の授業の中につくる。児童自ら学習スタイルを選び、自己決定する機会を積み重ねていくことで、個別最適な学びを実現する。

具体的な手だて③(AI 型デジタル教材の活用)

- ・AI 型デジタル教材を授業及び家庭学習で積極的に活用する。児童のつまずきの原因を解析し一人一人に最適化された問題に取り組むことで、個別最適な学び(指導の個別化)による基礎学力の向上を図る。

**校内で共有し、授業改革を日常化するための工夫**

- ・町田市教員用ポータルサイトを活用することで教員の指導力の向上を図る。
- ・各授業において自分の考えを根拠をもって相手に伝える場を意図的につくる。
- ・授業の終わりや単元の最後に振り返りをさせ、次の学びに生かす。

総括(7月)

全国学力学習状況調査の結果は、3教科とも全国平均を上回り、東京都平均と同程度である。しかし、基礎基本の学力の有無により正答数は二極化している。児童の理解度に沿って児童が自ら学習の計画をたて、教員が児童の習熟度を把握することで、きめ細かい個別指導を行う。

総括(1月)